



## CONTENTS

## Top Opinion

転換期に思う

J R東日本（未来構想P F 理事） 村尾 公一

1

## VOICE

日本南極地域観測隊員という貴重な経験（その3）

飛鳥建設(株)（第48・50次日本南極地域観測隊）橋本 斉

2

## たすきリレー

資格受験回想録と愛おしい家族たち

ニュージャパンコンサルタンツ(株) 佐藤 栄徳

3

## WS Topics

4

## 今月の国際比較データ

5

## P F 書店／私のインフラ巡礼／編集後記

6

## Top Opinion

## 転換期に思う

J R東日本（未来構想P F 理事） 村尾 公一

日本が経済大国であったのは遥か昔のことと成りつつあり、最近は年齢による個人的な鬱なのか、国の行く末に悲観しての鬱なのか微妙な感覚で過しています。10年「ひと昔」と言えばそれこそ日本が輝いていたのは「みつ昔」前に愕然としてしまう。総額のGDPで、人口が日本の約7割のドイツに抜かれ4位に転落するとも報じられている。何れ韓国にも抜かれそうな勢い、一人当たりGDPに至っては目も当てられない状態で、イタリアと競っています。何時から、我が国はこんな貧乏に成って仕舞ったのだろうか？

此処一年位、経済や為替に興味を持つようになって、注意して情報を見るように成りました。それでマスコミ報道の如何に杜撰かを身に染みて感じています。昨年末の日銀金融政策決定会合で、黒田総裁が金利を上げるのではないと幾ら否定しても、マスコミは勿論、市場も勘違いの円高に動き驚きました。一時資料の日銀資料を見ると、明確にイールドカーブ・コントロールの運用の見直しと説明して居り、更に月額の国債買い入れ額を7.3兆円から9兆円に増額すると書いている。要は金融緩和の継続で、引き続き低金利を維持することは容易にわかる内容です。おそらくマスコミは碌に資料を読みもせず記事にしているのではないのでしょうか。此の文を書いている時点1月17日では、今月の日銀金融政策決定会合が開かれていますが、12月の続きで誤解してマスコミも市場も円高に大きく振れています。恐らく、明けてびっくりの円安展開になるのでしょう。日本のバブルの最後のものと言える為替が、国の実力通りの150円程度に成って、海外に依存して居たモノづくりを、再び取り戻していくチャンスと2023年を位置づけ、様々な製品が国内で生産される新たな展開が始まることを願って止みません。



## 私のインフラ巡礼



～お茶の水スクエア～

世界的な建築家・磯崎新氏の都内にある作品

(JR東日本 木戸 秀一さん)

未来構想PFのホームページ  
(HP) をご覧ください。

会員はもちろん社会に大きく開かれた「参加型」HPです。

未来構想P F

検索

で検索してください。

トップページへのリンクは

[こちら](#)



## VOICE

## 日本南極地域観測隊員という貴重な経験（その3）

飛島建設(株)（第48・50次日本南極地域観測隊）橋本 斉

## 3.2 設営は南極観測の縁の下力持ち

南極での観測は地球を知る手がかりになる。しかし、南極での建設は自然を壊してしまうのでは？と疑問に思うこともあった。ただ、南極で観測活動をするための最低限の施設が必要であることは言うまでもなく、私は「設営は南極生活に必要な不可欠な縁の下力持ち」だと確信した。それは、観測隊員の衣食住を担い、その一つの建設にも大変奥深いものがある。南極観測船「しらせ」が昭和基地に近づくとアデリーペンギンが列を成して出迎えてくれるという見たことのない光景に興奮した。こんな光景が永遠に続くために、この南極の環境を侵さない技術をもって設営に関して研究する必要がある、環境に優しい、そんな設営であり続けることが必要である。そして日常生活の基盤を考えさせてくれる南極では、この瞬間にも観測と設営の各部門でのコラボで地球を観測している。

## 3.3 観測隊の協力と仲間意識の強さ

南極では、観測隊員は設営を、設営隊員は観測を互いに自分の任務以外の仕事を積極的に手伝い補っている。そんな隊員たちの姿に感動さえ覚えた。便利になった世の中で思い通りになることが当たり前になり、日常生活ではなかなか実感できない周りの人との助け合いや、国境を越えた協力を体験できるのも南極の魅力の一つである。さまざまな分野で活躍するスペシャリストが参加する観測隊員の個々には基本的任務があり、隊員になったその日から任務遂行のため日々準備する。私の任務はゼネコン社員として得意とする、資材調達・工程管理・安全管理・施工管理を生かした夏季オペレーションの中心になってインフラ整備の計画・施工を自ら率先して実行することであり、そのために重機免許も取得し操り、現場監理しながら毎日の配置人員の調整も行いう傍ら、時には中間食と呼ばれる「おやつ」を配って歩いた。土木技術者として南極で何かできないかと模索し、昭和基地に持ち込んだ日本酒の空き瓶を砕きコンクリート材料の骨材の代替えに利用することで廃棄物の削減を検討した結果、骨材の25%をガラスカレットに置き換え投入しコンクリート打設しても強度等に問題ないことが



露岩部分を切盛りし完成した輸送用道路



手作業で並べて完成したアルミ製ヘリポート

判明したので、昭和基地内で建設した倉庫の基礎に適用し、約3トンの廃棄物削減に貢献した。南極の夏生活もあつという間で、そんな毎日が楽しく充実し、「地図に残る」ものとして昭和基地内に道路、ヘリポートそして倉庫など多岐にわたり建設した。

普段、研究に没頭している学者やお医者さん、時にはシェフまでが、味わったことの無い建設作業に携わり、完成した建造物を目の当たりにした瞬間の表情に日々の充実感を感じたものだ。1年前までは存在さえ知らなかった人同士が集まった観測隊が、一つの目標に向かって協力し結果を残すという素晴らしさがそこにはあった。観測隊のみならず南極観測船「しらせ」の乗組員も忙しい時には船を降り設営作業を手伝ってくれた。まさに「ワンチーム」である。皆で一緒に作ったものが完成した時、お互いがお互いを称え、そして感動を分かち合う、この仲間意識と協力なくして成しえない光景である。

## 4 なぜ人間は南極を目指すのか

たとえ危険にさらされても、南極にはほとんど人類に汚されないままの自然環境があるため、将来の地球を予測するために適した場所だからである。昭和基地周辺で60年以上も定期的に観測してきたデータは貴重で、過酷な自然とは裏腹に素晴らしい「オーロラ」「動物たち」「星空」が存在する。

便利になった現代。南極にも観光旅行ができ、オーロラを見ようと北欧に出かける人もいる。南極には、冬には無数のオーロラと出会い、人間を天敵と思わず無警戒に近寄ってくる動物た



愛くるしいアデリーペンギンたち





ちの姿がある。次の機会があれば絶対に手を挙げて行くのだろうな、苦しんだ船酔いのことなど忘れて。南極で得た経験や観測隊での人脈は私の人生において、『同じ釜の飯を食った』仲間たちとの出会いがあったからこそ、懐かしさを語り、苦労を共にしたことを良い思い出として、また将来的にもかけがえのない宝物として、私の胸の中で君臨し続けるに違いない。(完)

## たすきリレー

### 資格受験回想録と愛おしい家族たち

ニュージャパンコンサルタンツ(株) 佐藤 栄徳

この度、ご縁があり「未来構想プラットフォーム」会報への執筆依頼を頂きましたが、世間様に披露できる特技や趣味もありません。そこでこれまで受験した「資格」を振り返ることで、私の拙い業務経験の紹介をさせていただきます。それと我が家で飼育している生き物を紹介させていただきます。

#### 1. 受験した資格、勤務した現場の紹介

##### ①甲種火薬類取扱保安責任者

受験時期：昭和57年22歳。鉄建建設株式会社に入社し、最初に赴任した「青函トンネル」(写真①)にて掘削に発破を使用しており、実務で必要なので受験するよう指示され、無事一度の受験で合格することができました。

##### ②一級土木施工管理技士

受験時期：25歳。この資格は現場に携わる者には自動車免許のようなものだ！と先輩諸氏に言われ、必要な実務経験年数に達した段階で受験し、合格することができました。

##### ③プレストレスコンクリート技士

受験時期：26歳頃。PCコンクリート工事現場の経験は雄物大橋架橋工事(写真②)のみ(しかも在籍3か月)であったが、他の社員が受験する、とのことで挑戦しました。しかし敢え無く不合格。それ以降は受験せず現在に至っています。

##### ④土地家屋調査士

受験時期：32歳頃。バブル時代に不動産関連で、合格に手が届きそう



写真① 第11,12本坑貫通式○内が40年前の私です。



写真② 雄物川最下流の橋梁(秋田県)

な資格をと思い、高価な通信教育を受講し受験を試みましたが、その程度の対策では合格は無理、と判断。挫折したまま現在に至っています。

##### ⑤技術士(建設部門 トンネル)

受験時期：35歳～41歳。それまでの現場経験が「未固結地山トンネル」(舟形トンネル)(写真③)、「メガネトンネル」(岡小名トンネル)(写真④)、「開削トンネル」(仙石線地下化工事)、「水路トンネル」(山王海導水路トンネル)、「高速道路2期線トンネル」(磐越道新中山トンネル)(写真⑤)等トンネルが多かったことからその経験を何かの形で成果にしたい、と考え受験を志しました。4回挑戦の末、何とか合格できました。ちなみに数年後、総合技術監理部門に挑戦しましたが、敢え無く不合格となり現在に至っています。



写真③ 舟形トンネル(山形県)



写真④ 岡小名トンネル(いわき市)



写真⑤ 新中山トンネル(郡山市)

##### ⑥コンクリート診断士

受験時期：41歳。資格制定された年に受験しましたが、準備不足で不合格。現在に至っています。現在の立場を考えると、頑張っ合格しておけばよかったと後悔しています。

##### ⑦コンクリート技士

受験時期：45歳。それまで勤務したHEP & JES工法現場(小牛田B v、塩釜B v、高坂B v、白河函渠(写真⑥)で特殊コンクリートを扱っ



たことから、コンクリート関連の資格に挑戦しようと考え、無事合格することができました。

### ⑧RCCM（施工計画・施工設備及び積算部門）

受験時期：62歳で「ニュージャパンコンサルタンツ株式会社」の代表取締役役に就任した際、コンサル会社であればRCCMを取得し、内容を知ることが必要と考え、同年受験し合格できました。

以上が私の資格受験（業務）経歴です。これまで何とか建設関連業界で務めることができたのは、先輩諸氏また多くの方々のご指導のおかげです。この場をお借りして御礼申し上げます。

## 2. 我が家の生き物紹介

次に我が家で飼っている少々レアなペットを2種類紹介致します。

①カナヘビ（3匹） いつもはガラスケースの中で、冬眠はさせていません。餌は家内がカナヘビを手に持ってピンセットで食べさせます（写真⑦）。食べ終わったら首の周りを歩き回ります（写真⑧）。

②アカミミガメ（3匹） 3匹とも居間で放し飼い状態です（写真⑨）。排泄、食事は風呂に設置した水槽のなかでします。アカミミガメは特定外来種に指定され販売、輸入、放出が法律により規制されます。（2023年）



写真⑦ 食事中



写真⑧ 食後の散歩



写真⑨ 居間で暮らしています



写真⑥ 高速道路下の施工（白河市）

## WS Topics

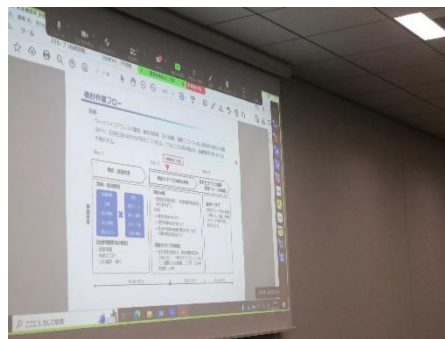
## 首都圏郊外拠点駅の在り方WS （第3回全体会議）



去る1月11日に未来構想プラットフォーム調査研究ワークショップ＜首都圏郊外拠点駅のあり方＞第3回全体会合が開催されました。

3グループがそれぞれのテーマ（相模原駅、村岡新駅、新木場駅）についての検討状況について中間報告を行い、当日はファシリテーターをはじめ、有識者の皆様、参加者から様々な意見が出され、活発な議論が交わされました。全体会合にていただいたご意見を踏まえ、各グループで引き続き最終報告に向けて活動を進めてまいります。なお、検討内容につきましては、今後P F 通信にて順次ご紹介いたします。

（今回のワークショップの参加メンバーにつきましては、次ページに掲載しております。）



何とも雑駁な内容でしたが、以上で終了とさせていただきます。





表 未来構想PF 令和4年度調査研究ワークショップ メンバー（敬称略）

| Ⅰグループ（相模原駅） |                                    |
|-------------|------------------------------------|
| 犬飼 武        | 東京都北区（国土交通省）北区技監兼鉄道駅関連プロジェクト担当部長   |
| 植地 剛        | （株）日建設計 都市・社会基盤部門 都市計画部            |
| 浦田 裕彦       | （株）日建設計 都市・社会基盤部門 計画部              |
| 下田 智博       | 小田急電鉄（株） エリア事業創造部課長代理              |
| 中野 涼子       | J R東日本（株） 国際事業本部インド高速鉄道部門 マネージャー   |
| 野原 卓        | 横浜国立大学大学院 都市イノベーション学府・研究院 准教授      |
| ●堀 敏之       | J R東日本（株） 建設工事業部 マネージャー            |
| 山田 修平       | 三井不動産エンジニアリング（株） 開発技術本部開発技術部上席主管   |
| Ⅱグループ（村岡新駅） |                                    |
| 加古 慎        | 鉄建建設（株） 東京鉄道支店土木営業部担当部長            |
| ●金井 昭彦      | （株）J R東日本建築設計 プロジェクト開発本部 事業推進部 次長  |
| 川幡 嘉文       | J R東日本（株） 建設工事業部 副長                |
| 西村 亮彦       | 国土館大学 理工学部理工学科まちづくり学系 准教授          |
| 東 隆介        | J R東日本（株） 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス 副長  |
| 藤田 文彦       | 三菱地所（株） 都市計画企画部 ユニットリーダー           |
| Ⅲグループ（新木場駅） |                                    |
| 小林 蘭美       | J R東日本コンサルタンツ（株） 調査計画本部 計画部 課長     |
| 近藤 樹理       | J R東日本（株） 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス 副長  |
| 田部井 俊介      | J R東日本（株） 東京建設プロジェクトマネジメントオフィス 副長  |
| 鴫田 正明       | 東京都 都市整備局都市基盤部外かく環状道路担当課長          |
| 中對 卓司       | （独）都市再生機構 都市再生部 事業管理第2課長           |
| ●早川 壮太      | 東京メトロ（株） 経営企画本部 企業価値創造部兼 まちづくり連携PT |
| 村山 顕人       | 東京大学大学院 工学系研究科 都市工学専攻 准教授          |
| ファシリテーター    | 廣瀬 隆正（三菱地所 顧問）                     |
| 事務職         | 大口 豊（（株）ジェイアール東日本都市開発 常務）          |

●：グループリーダー

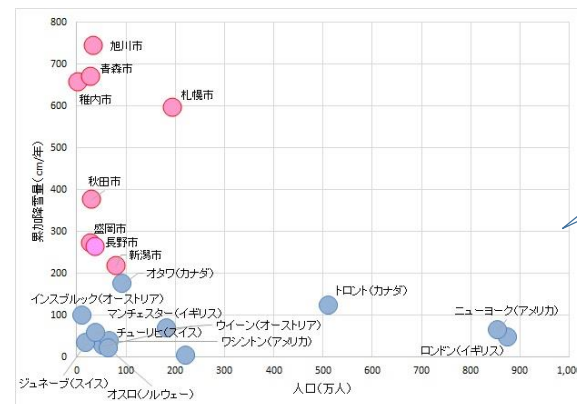
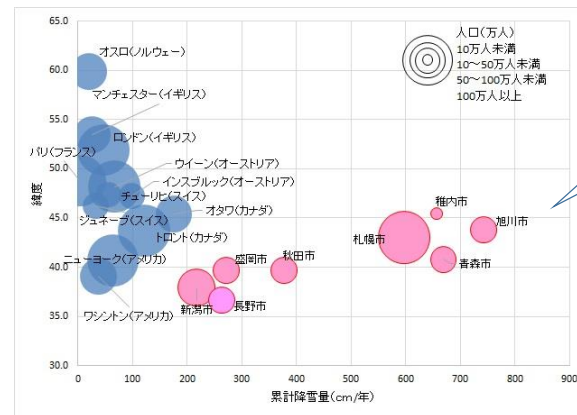


## 今月の国際比較データ



### ●世界の積雪量

先日、東京都内でも雪が降りました。毎年、冬になると北海道や東北、本州の日本海側などでたくさんの雪が降ります。日本では割と一般的な雪ですが、世界には様々な気候の場所があるため、雪が降る地域もあれば、全く雪が降らない地域もあります。実は雪が降る地域の中でも日本は特に積雪量が多い国だということをご存知でしょうか。今回は世界各都市と日本の都市との積雪量の比較を紹介いたします。





PF 書店

本の題名をクイックすると、出版社の  
書籍紹介HPにリンクします！

## ① 異彩を、放て。 (松田崇弥・松田文登 著 新潮社)

異彩を、放て。松田崇弥・文登の双子兄弟が兄に影響されヘラルボニーを創業した自叙伝。主に知的障害者や施設と契約を結んでアート作品に正当な芸術価値をつけ、福祉を起点とする文化創造と障害へのイメージ変容を目指すヘラルボニー。発信地は地元の岩手。地方都市である岩手が変われば、日本が変わる。この社会も変えられる。この世の中に鮮烈な「異彩を放つ」ことで、依然としてあるさまざまな障壁を取り除き、「障害」に対するイメージが変わり、新たな文化と新たな常識が生まれる。そんな岩手を障害に対するイメージを変容させる聖地として、「障害は欠落ではない」という思想を発信する場所として確立する。この世には、放たれるべき異彩が、たくさんある。一人ひとりの違いを尊重し合える世界を訴える強い想いを共感したい、そんな一冊である。

② Digital General Construction 建設業の“望ましい”未来  
(中島 貴春 著 日経BP)

高齢化・人手不足という建設業界の極めて重い現実があり、問題解決に残された時間は短く、国も業界も「建設テック」による生産性向上で乗り越えようとしているが、抜本的に解決できるほどの成果を出しているわけではない。建設テックを10年間見続けた著者がたどり着いた答えは、「デジタルゼネコン (Digital General Construction: デジタル総合工事会社)」というコンセプト。建設テックを展開させるのには、そもそも建設業界の理解が必要で、業界の成り立ちなど基本的なことにも触れていることから、建設テックに関わる方、建設業界で働く方、これから建設を志す、すべての方にとっての指南書となっている。

## ③ しろがねの葉 (千早 茜 著 新潮社)

普段は直木賞や芥川賞の作品をすぐに読むことはないが、たまたま直木賞候補ということで読み始めたところ、ちょうど読んでいるタイミングで直木賞受賞となったまさにタイムリーな「しろがねの葉」。

舞台はユネスコ世界文化遺産に登録された島根県の石見銀山。そんな石見銀山で戦国末期に果敢に生きた女性の一代記。当時の鉱山は女人禁制だったが、まだ10歳にも満たない子供であった主人公のウメが、「うちも間歩で稼ぐ」と言い出し、新たに始まる彼女の銀山での人生の物語。伝説の人物ではなく、こういった市井の人々にスポットを当てた作品にあっぴれである。



私のインフラ巡礼



## 「お茶の水スクエア」 (東京都千代田区)



昨年12月28日に世界的な建築家である磯崎新氏がお亡くなりになりました。建築にとどまらず、思想や芸術などの幅広い分野で活躍し、2019年には建築界のノーベル賞といわれるプリツカー賞を受賞しています。今回は都内では数少ない磯崎作品の一つである「お茶の水スクエア」を取り上げます。現在は外壁のこの建物は低層部が1925(大正14)年、ウィリアム・メレル・ヴォーリズによって設計された出版社「主婦の友社」の旧社屋でした。老朽化に伴う修復保存に合わせて近代的な高層部を付加し、近代建築の再生保存の先駆的な存在として位置づけられています。(JR東日本 木戸秀一さん)

## 編集後記

2/6早朝(現地時間)、トルコ南部においてマグニチュード7.8の地震が発生しました。7日時点では、倒壊した建物5,700棟を超え、隣国シリアも含めると5,000人以上の死者が出ているようです。改めて地震の恐ろしさを目の当たりにして、防災キットなどの日頃の備えを確認しようと思いました。各国の早急な支援により、被災者が一刻も早く救助されることを祈るばかりです。(S.Y)

プラットフォーム通信では、メンバーの皆様の投稿をお待ちしています。

連絡先: 未来構想 PF 事務局 大口

電話: 03-4334-8157

メール: [info@miraikoso.or.jp](mailto:info@miraikoso.or.jp)

〒100-6005 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビル 5F-28